

報告日 令和 7年2月17日(月)	報告者 吉武惇二
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ：酒井伴四郎の江戸勤務日記
開催日時 令和 7年2月13日(木) 午前 10:00 ~ 12:00	開催場所 金沢公会堂第2会議室
参加人数 男性9名 女性3名 合計12名 (欠席者2名)	
<p>今月の査読は、10月21日から29日まで進んだが、これで酒井伴四郎日記のテキストは終了することとなった。来月からは新たなテキストとして、「箱根浴湯記」を使用することとなった。</p> <p>最後の日記となった万延元年(1860年)の10月27日から29日にかけて、2泊3日で横浜方面に出かけている。新橋～横浜に機関車が走るのは明治5年(1872年)のことだから、それより12年以前の話である。おそらく徒歩による大旅行だったに違いない。幕末の開国間もない横浜で見た異人の風貌、生活様式なども記されている。また、現在でも石灯籠などが残されている当時の遊郭「岩亀楼」の名も出てくる。</p> <p>真田講師より①岩亀楼紹介の主要URL、②変体仮名一覧、③異体字・略体字一覧/旧字体(正字)表、に3つの資料が配布された。②と③は来月から始まる「箱根浴湯記」の参考資料として利用されるものだ。</p>	
<p>次回予定 令和7年3月13日(木) 10:00～12:00 場 所：金沢公会堂第2会議室 テーマ：箱根浴湯記</p>	